

都井の夜空にたいまつ舞う

都井岬

火まつり

国の天然記念物に指定されている野生馬の岬馬が生息する都井岬で8月26日、串間の夏の風物詩である「都井岬火まつり」が開催されました。

この祭りは、はるか昔に衛徳坊というお坊さんが、人々を苦しめた大蛇の口にたいまつを投げ入れて退治したという伝説を再現し、衛徳坊の偉業をたたえとともに、五穀豊穡を願うもので、今回57回目。また、コロナ禍を経て4年ぶりの開催ということもあり、市内外から多くの人が訪れました。

火まつりの最初はステージイベントが行われ、串間中学校吹奏楽部の演奏や園児などによる太鼓の演奏が披露されました。最後には串間出身のシンガーソングライターであり、くしまPR大使も務める「井手綾香」さんのスペシャルライブがあり、同じくシンガーソングライターである「nkie」さんとのデュエットを含めた計6曲を披露。伸びがあり透き通るような歌声に観客は酔いしれていました。

午後8時頃柱松がスタート。全長約30メートルの柱の先端目掛けて、勢子と呼ばれる地元の男性らが次々とたいまつを投げました。観客は「トントコトツテ、エイトクボウ（とうとう打ち取った、衛徳坊）」とかけを送り、命中すると花火が上がリ、会場からは拍手と歓声が湧き起こりました。

都井岬の大自然とたいまつの匂い、太鼓の音色と元気な掛け声、飛び交うたいまつ、柱松が倒れて花火が上がる瞬間。どこを切り取っても幻想的で、幼い頃から大好きなお祭りです。4年ぶりの開催となった今年の火まつりを、歌と一緒に盛り上げる事ができて本当に幸せでした。今回は東京から2人のスタッフが同行したのですが、初めて都井岬に来た2人が終始感動している姿を見て、改めて串間市には魅力がいっぱいだなあと感じ、うれしくなりました。

くしまPR大使として、より多くの方に串間市の魅力を伝えていけるよう、今後も努力してまいります！

くしまPR大使
井手 綾香さん



都井臼太鼓踊り▶

柱松の前に披露される都井地区の伝統芸能である都井臼太鼓踊り。静寂が漂う中、男性による勇壮な踊りと女性が打ち鳴らすかねが会場の雰囲気を盛り上げました。

